



進路だより

令和5年10月6日(金)

福井県立盲学校進路指導部



進路指導部では、本年度も皆さんが自分に適した進路選択・決定を行えるように、様々な進路行事を実施します。また、外部関係機関と連携を図り、皆さんに必要な情報の収集、進路体験活動の場の提供に努めていきたいと考えています。御要望等があれば、進路指導部・担任までどしどしお寄せください。今回の進路だよりでは、前期に実施した進路関連行事や学習、卒業生の様子、啓発活動等についてお知らせします。進路を考える資料としてお役立てください。

令和5年度 進路関連行事（対象／期間）

【全学部】

5月 進路希望調査（児童・生徒・保護者）

6月 面談週間（生徒・保護者）

8月 光道園見学会（保護者）

進路学習会（児童・生徒・保護者）



【幼・小学部】

8月 幼小のつどい（幼児・児童・保護者）

【普通科】

5～8月 進路体験、職場見学（生徒）

7月 福祉的就労等についての相談会

（福祉的就労を目指す生徒の保護者）

8月 大学等オープンキャンパス（希望者）

11月 現場実習（福祉的就労を目指す生徒）

12月 進路講演会（生徒）



【理療科】

6月 ハローワーク求職登録（3年生）

7月 進路講演会（オンライン）、理療科オープンキャンパス

8月 職場見学実習（希望者／3日間）

9月 職場見学、理療実習

11月 理療科オープンキャンパス

11・1月 あはき師国家試験模試（3年生）

2月 あはき師国家試験（3年生）

3月 あはき師国家試験合格発表、地域理療校外実習（3年生）



幼・小学部

関係機関との連携

幼稚部 4 歳児担任

幼稚部の 4 歳児は、今年度より利用する施設を一つ増やして、週 1 回はあもにい永平寺を利用し始めました。夏季休業中の利用日には、教員が訪問して、活動の様子を参観してきました。保護者を通じて、はあもにいでの様子を聞いていましたが、実際に訪問することで、活動内容や食事・休憩などの過ごし方、周りの人とのかかわりなどの様子を知ることができました。また、職員の方に学校での様子を伝えることもできました。互いの様子などを情報交換することで、体調管理についてはもちろん、それぞれの活動の参考にすることもできます。今後も、家庭や関係する福祉・医療機関と連携を密にしながら、幼児が健康に充実した日々を過ごせるよう支援していきたいと思えます。

普通科

普通科の取組

中普部長

中普部では、進路に関する考えを深め、進路選択につなげるため、進路指導部と連携した取組を行っています。

1. 生徒のニーズに応じた職場見学（体験）や進路学習会、保護者を対象とした就労相談会を開催しました。今後も感染症対策を行いながら、進路行事（現場実習や進路講演会等）を行います。
2. 進路支援を中心に、学習や学校生活の支援策を検討する場として、「生徒支援会議」を開催しています。この「生徒支援会議」は、クラス担任・学部主任・進路指導部長が参加し、令和 4 年度から毎月開催しています。



今後も、生徒の自己理解を促し、一人一人の望ましい進路実現を支援していきますので、保護者の皆様の御理解と御協力をお願いします。

前期には、普通科1、2年生が各自の希望をもとに、積極的に校外に出掛け、様々な内容で見学や体験を重ねました。自分が興味関心のある会社や大学、卒業生が働く職場等、それぞれで多くの刺激をもらい、進路に関する知識や情報を得ることができ、有意義な活動となりました。これらの体験を踏まえ、生徒たちは次なるステップへと進んでいきます。これからも、進路選択・進路決定に向けて頑張りましょう。今回は、それらの中からいくつか報告してもらいます。

【 見学・体験先 】

- 一般企業：Web制作会社、松岡デイサービスセンター、FBC株式会社
- 福祉的就労施設：あけぼの園、光道園、ふくい福祉振興会
- 大学等オープンキャンパス：本校理療科、大学

普通科 進路体験

総合福祉施設 あけぼの園

5月31日（水） 6月27日（火）

普通科1年 生徒・担任

進路体験として、1学期に2回、あけぼの園に行きました。昨年度、保護者と本人が見学はしているので、今年度は、教員とあけぼの園での活動を体験しました。1回目は、個別活動の日に午前中のみ体験をしました。はじめは緊張していましたが、その日にあけぼの園を利用していた卒業生に会い、一緒に園内を散歩しているうちに笑顔になりました。個別活動の場所に戻ってからも、キーボードを弾いて楽しむことができました。2回目は9時半から14時半まで、昼食をはさんでの体験をしました。1回目より利用者さんが多く、いろいろな人の声に落ち着かないようでしたが、七夕飾り作りの後の昼食は、御飯とフライドポテトを完食し、午後の個別活動を楽しむことができました。

卒業後の利用を考える上で、今回の体験は、互いのことを知る良い機会になりました。

職場見学で分かったこと

普通科 1年 生徒

今回の職場見学では、6月30日に松岡デイサービスに行って、患者さんを施術するところを見学させていただきました。施術する際には、ただするだけでなく、患者さんと会話することもしていました。痛くないかを聞いたり、身近な話題で話をしていたりもしました。やはり、こういった仕事では、そのような会話のスキルも大切だと思いました。見学の後、質疑応答の時間がありました。いちばん印象に残った話は、職業選択は自分の意思で決めないと、自分に合った仕事につけないということです。今後の進路を考える上で、参考にしようと思いました。

今回の職場見学は、とても良い勉強になりました。また、こういった機会があったら、積極的に参加したいです。



Web 制作会社の方の話を聞いて

普通科 1年 生徒

7月26日に「UJ Web Service」の方に、会社についての説明や仕事内容についてなどの話を聞きました。「UJ Web Service」は、個人で経営している会社であるので、個人経営の会社についての特徴や生活の様子まで、いろいろなことを聞くことができました。話を聞くだけでなく、事前に何個か考えた質問にも答えてくださいました。その話から特に印象に残っているのは、高校卒業後に就職するか専門学校に進学するかどちらがおすすめかを聞いた時の回答で、「まずは、実際に自分で制作してから考えてみてください。」とおっしゃっていました。確かに自分は何もせずに話や職場見学だけをしていてもイメージがしにくく、完璧に分かっている・知っている状態ではないので、余計悩むのかなと思いました。これからは空き時間等に実際に制作してみて、より本格的に今後の進路について考えようと思います。



理療科進路講演会（オンライン）を開催しました

理療科教諭

7月13日（木）にオンラインにて進路講演会を行いました。

当日は梅雨前線による大雨の影響で休校となりましたが、寄宿舎に宿泊していた生徒と教員が出席し、欠席した生徒には後日録画したデータを視聴してもらいました。

東京の博報堂D Yアイオーのヘルスキーパーを講師に招き、ヘルスキーパーームの様子や運営上の工夫などを、写真を交えて細かく説明していただきました。ヘルスキーパーとは、福利厚生を目的で、従業員を対象にマッサージ施術を行う職種のことです。この会社では、三つの事業所に約20名近いヘルスキーパーを雇用しているとのことでした。

近年、都市部における理療師の就職先としてヘルスキーパーが第1位となっています。大人数が勤務する事業所が少ない地方においては、ヘルスキーパー自体まだまだ知られていない存在ですが、今後理療科生徒の主要な就職先として新規に開拓していきたいと考えています。

進路講演会を聞いて

専攻科理療科3年 生徒

7月13日に、進路講演会がありました。東京の企業で、ヘルスキーパーとして働かれている方の話を聞かせていただきました。

その方の話の中で、私がいちばん印象に残ったのは、ヘルスキーパーとして施術を行う以外に、企業や社会に貢献できることを考え、実践されているということでした。視覚に障がいがあると、晴眼者に比べ、できることの幅が狭まってしまふと思いがちですが、考え方を少し変えることで、道が開けることもあるのだなと感じました。学校の卒業がゴールではなく、就職しても、自分にできることを探していきたいと思いました。

理療科オープンキャンパス

理療科主任

7月8日に、3年ぶりとなる理療科オープンキャンパスを行いました。参加者は本校高等部生徒2名、保護者1名でした。

授業体験では、骨模型を使って手の構造を理解したり、手にある経穴（ツボ）を実際に押して体験したりするなどの内容でした。実技体験では、鍼（はり）を練習器に刺したり、あん摩・きゅうの施術を受けたりと、理療科1年生で学習する内容を体験してもらいました。今回、参加した皆さんには、理療に興味をもっていただけたと思います。理療は、自分の知識や技術を磨き、それを患者さんの治療へと実践します。治療後に患者さんから直接「ありがとう」と言っていただける理療という職業を知ってもらい、一人でも見えない・見えにくい方の職業として選んでもらえることを心より願っています。

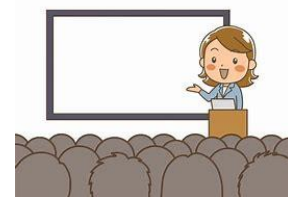
第2回は、11月3日の開催を予定しています。皆さんの参加を心よりお待ちしております。



進路学習会

昨年に引き続き今年度も、年度初めに行った進路希望調査による保護者の要望に基づき、進路学習会を企画しました。

8月26日（土）、ふっとわーく障害者就業・生活支援センターの社会福祉士の方を講師にお招きし、「一般就労と福祉就労について」というテーマでお話いただきました。参加者は、生徒・保護者・教職員計29名。視覚障がい者の雇用状況や様々な働き方、就労を支援する支援機関、事例の紹介など多岐にわたる内容でした。参加者からは、これまであいまいだった障がい者の就労について大変分かりやすい説明で、知識を整理することができたなどの声が聞かれました。学習会終了後には、個別の相談にも応じていただきました。



8月1日、2日、昨年度卒業生2名の進路先を訪問し、職場や施設の様子を見学させていただきました。

理療科卒業生は、福井済生会病院に就職、フルタイムでの正社員です。人事室という部署において、勤務証明書をはじめ様々なデータ登録、派遣職員の案内や入職説明など、日々事務作業を勤務時間いっぱい取り組んでいます。パソコン、iPad、書類等がきちんと配置されていて、手順よく仕事をこなしていました。作業がスムーズで、キーボードの打ち込みも大変早くなっていました。目が疲れることもあるようですが、1日中パソコンばかりではないので、助かっているということでした。見落としがないように、ダブルチェックを入れてもらい、書類を仕上げていました。彼女の仕事ぶりに上司の方も感心されていました。働くようになってから、毎朝弁当を自分で詰めて、趣味も含め生活が変わり、大変健康的になったということです。上司や先輩職員の方にも恵まれ、安心できる環境の下、生き生きとした表情で働き、充実した毎日を過ごしていました。

普通科卒業生は、卒業後、ライフカレッジあけぼの、はあもにい永平寺、こども療育センター「オアシス」の3か所を利用しています。今回は、ライフカレッジあけぼのを訪ねました。訪問した日は、広いホールに10～13人の方が集まって、各々に活動をしていて、その中でバギーに乗って音の出る絵本を抱えて、周囲の様子をうかがっていました。時々、自分でスイッチを押して音楽を聴いて楽しんでいました。別の日には、大きなバランスボールで体を動かしたり、作業を頑張ったりもしています。作業では、保育園児にプレゼントするバックへのシール貼りや、和紙作りを通して工賃をいただいているようでした。はあもにい永平寺でも、カフェでコーヒーを入れて出すお手伝いをしたりして、工賃をいただいているとのことでした。こうした活動に対する工賃は、生活の励みになっているようでした。週2回自宅の訪問リハビリを受け、術後長く付けていた腰のコルセットも取れて、足の痛みもやわらいだようでした。体調も良く、休まずに通っていて、食事はしっかりとれているとのこと、顔の色艶も良く、表情がお姉さんぽく感じられました。今回は、元担任の同行もあり、久しぶりの再会を喜んでいました。

福祉的就労等についての進路相談会

福祉的就労を目指す生徒の保護者を対象として、福井市障がい者基幹相談センターより相談支援員をお迎えし、進路相談会を開催しました。専門機関の方から実際に話をお聞きし、福祉サービスや福祉的就労について理解を深め、福井市内の事業所についての情報を得ることで、今後の現場実習や卒業後について考える機会としました。福祉サービスや福祉的就労の様々な形について、さらに相談支援員との連携、事業所を選ぶ際のポイント等、具体的な話をいただきました。その後、保護者の方々からの質問や相談に答えていただきました。気軽に相談に応じてくださり、大変有意義な時間となりました。

卒業後の進路を考えるのに、3年間は長いようで短い期間となります。様々な機関と連携を図りながら、生徒の進路について共に考えていきたいと思っています。



※福井市内の福祉的就労機関に関する情報は福井市障がい者自立支援協議会作成の「福井市障がい者就労支援ガイドブック」で御覧いただけます。インターネットで検索してみてください。

光道園・盲学校合同研修会

社会福祉法人 光道園と本校は、視覚障がい支援の専門機関として、年に1回交互に訪問する形で、合同研修会を実施しています。コロナ禍の影響で、平成30年以来の訪問となった今年度は、8月9日（水）に保護者1名と教職員15名が参加しました。鯖江・朝日事業所、就労支援事業所、グループホームの各施設を見学し、充実した設備、利用者に応じた活動等に大変感銘を受けました。本校卒業生たちの元気な笑顔に出会うこともでき、有意義な研修となりました。



学校見学会

6月30日（金）、7月1日（土）の二日間、学校見学会を行いました。大学、高校など学校関係者、社会福祉協議会や地域の民生員、卒業生の就労先の企業、障害者就業・生活支援センターなど、様々な関係機関から多くの方に参加いただきました。地域のハローワークからは、学校見学を希望する企業が多くあると聞いています。このような会が、盲学校のこと、生徒のこと、さらに、視覚支援について知ってもらう良い機会となればと考えています。実際に参加された方々からは、校舎内の設備面の工夫や幼児児童生徒一人一人に配慮された教材と授業の展開の素晴らしさ、そして、もっと多くの人に盲学校のことを知ってもらいたいとの感想をいただきました。進路開拓に向けて、企業をはじめ関係機関へ啓発に出向く一方で、盲学校から発信し広く呼び掛けて、本校に集まり盲学校のことを知っていただくことも重要な啓発活動と考えています。その一つとして、この学校見学会が大きな役割を果たしています。



ふくい障がい者ワークフェアに参加

9月2日（土）、3日（日）の両日、ショッピングシティベルで開催された「ふくい障がい者ワークフェア」にてパネル展示を行いました。このイベントは毎年福井市商工労働部しごと支援課の主催で行われています。福井市近郊の特別支援学校のパネル展示や生徒による販売の他、高齢・障害・求職者就職支援機構の機器展示や相談窓口などが設置されています。本校は2階のくらしの地域情報センターにパネル2枚分のポスターを設置しました。ポスターには、昨年度公開した「聞いて見て知って盲学校」へリンクしたQRコードを掲示し、その場で動画を御覧いただけるようにするなど、本校が得意とするICT技術を積極的に活用し、来場者にアピールしました。今後もこのような場を積極的に活用し、盲学校や視覚障がいについての理解啓発につなげていきたいと思ひます。

